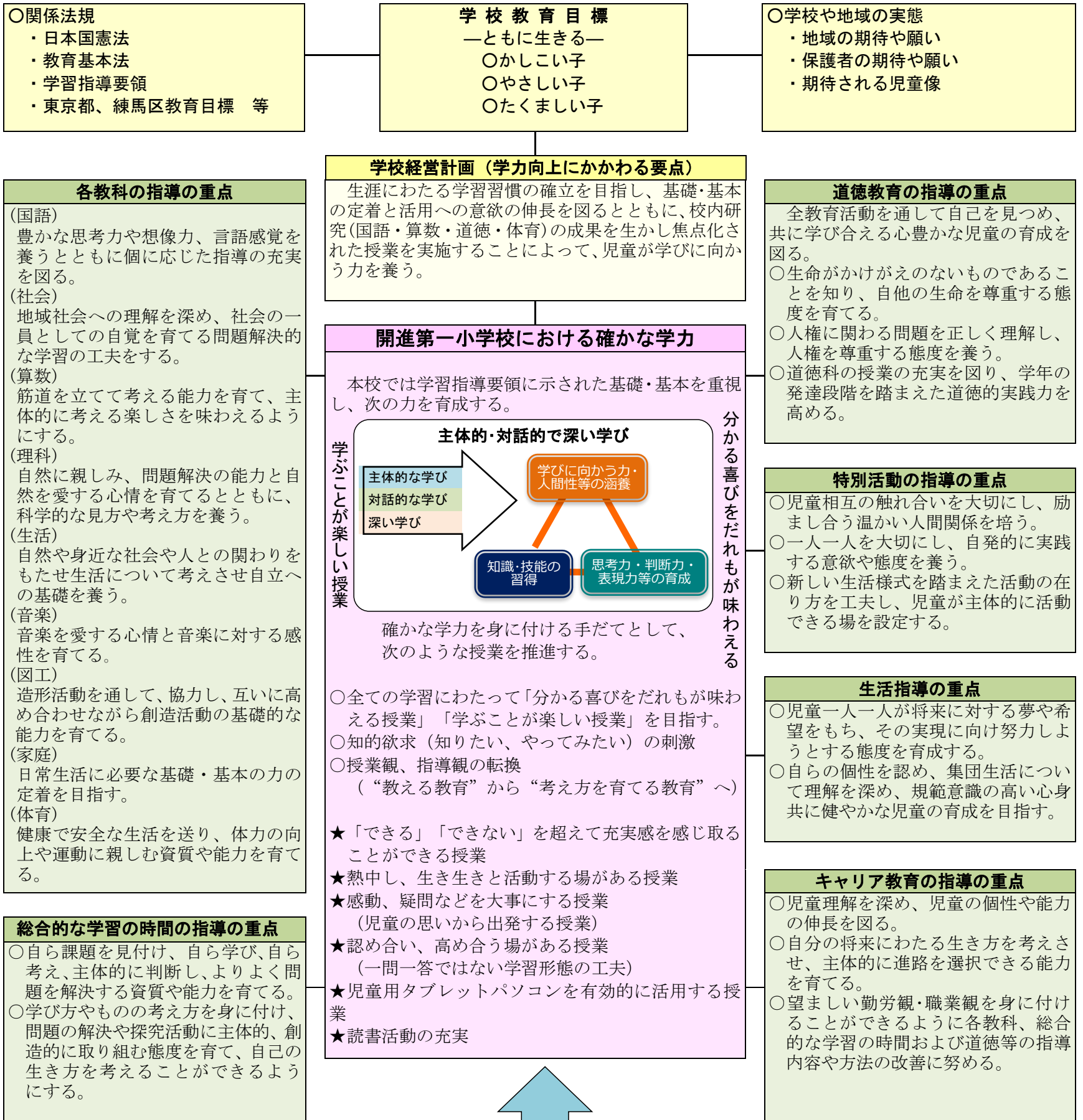


令和3年度 学力向上を図るための全体計画



本校の授業改善に向けた視点					
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育の視点
<ul style="list-style-type: none"> ○「読み解く力(取り出す力・読み取る力・解決する力)」に重点を置き、学力の向上を図る。 ○発展的な学習・補充的な学習の開発をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○1、2年生の算数におけるTT指導、3～6年生の算数における習熟度別指導を行う。 ○全学年特色ある教育活動の継続・発展をする。 ○土曜授業の有効活用をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○正しく読む力の育成を目指し、授業改善を図る。 ○授業実践を中心に個々の指導力を高める研修を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○個のよさや伸びの評価(画一的でない評価の物差しを用意)を行う。 ○評価したら指導に生かす評価活動のサイクルを重視する。 ○学校評議員等、外部指導を生かした改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者の意見や関係者評価などを授業改善に活用する。 ○道徳授業地区公開講座を2回に分け、インターネット等も活用しながら実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○9年間を見通し、地域で一丸となって心身の健全育成を図り、子供たちが授業に臨む姿勢の素地を養う。